



森ボラ 通信

第49号 2006年6月20日発行
N P O 法 人 北 海 道 森 林 ボ ラ ン テ ィ ア 協 会
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F
Tel:241-8155 Fax:241-8308
E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp
URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆ 三井住友海上火災保険(株)との合同森林保全野外活動

6月7日、酒井代表幹事と高野事務局長は三井住友海上火災保険(株)北海道本部を訪問、田村経理総務グループ長および松本自動車営業部第二課長と面談。企業団体として社員参加の環境保全関係の野外活動を企画実施するについて相談を受けました。森林施業の素人達であることを念頭に安全優先の場所と作業という観点から、まずは、澄川でのゴミ出し作業から実施する方向で調整に入ります。

◆ 森林施業いよいよ本番

神宮初日 参加初日 22名、2日目 13名。前域林の林床清掃で落枝や切枝の集積を1日で終え、チップパーによる粉砕作業を行いました。リンゴ園でも活躍したチップパーですが、木質もいろいろで特に堅いイチイの枯枝もバリバリ粉砕する威力は頼もしい限りでした。神宮側の作業員達もその威力を認めておりました。あと1日で左右の前域林の枝処理は完了の見込みとなりました。



藻岩初日 雨で2回を流した藻岩国有林施業ですが、6月7日、8日の2回今年度の初仕事でした。参加人数は7日6名、8日7名。エゾハルゼミの声のする中、手鋸による人力作業で細目のものから間伐を進めました。藪蚊が顔にまとわりつく季節となりました。2日目は午後から雨となり、急傾斜地で足元がすべるので早めに切り上げました。

有明第二初日 6月14日(水)参加10名、有明第二では札幌市と有明小学校が不法投棄ゴミ防止の幟旗を



随所に配置し、ゴミ掃除がゆきとどいておりました。笹藪地の去年の植樹は80%程度の活着でしたが、ヤチダモの新芽が虫にやられてとろけたような状態になっているのが気がかりでした。アプローチ道路から植樹地の草刈は簡単に片付けました。ただ、天然更新を期待した地掻きの部分はまったく発芽の気配もなく、裸地の状態でした。嬉しい報せがあります。クマガラの餌場として残した中折れトドマツに新しいクマガラの食痕が2ヶ所確認できました。

◆ 飲み会もたけなわ

リンゴ園花見

5月23日(火)参加11人。この日は生憎の雨模様、お昼の時間にあわせて参加者が三々五々集まりだしました。斉藤リンゴ園に来る楽しみの一つは、リンゴ園の入口のバードテーブルにどんな野鳥がきてくれるのかを見ることである。この日もシジュウガラなどが餌を啄ばみに来ていたが、これまでもアカゲラ、コゲラ、ヒヨドリなどいろいろな野鳥が来ている。リンゴの花も満開でしたが、この日は雨をよけて花見は屋内で行うこととなった。園主の斉藤さんの挨拶を口火に早速バーベキュー開始となる。皆さん飲むほどに酔うほどに自然や緑に対する思い入れを語りあい楽しい一時を過ごしました。これから摘花・果の作業の山場に入ります。豊かな秋の収穫を目指して今年も多くの皆様の参加をお願いします。(荻田 記)



西野テーブル完成コンパ

5月31日(水)参加15人。杉本邸に着く、森ボラ杉本工房(車庫兼)の中央部にデンと鎮座している本日のメイン作品のテーブルに驚かされる。目で見て、随所に製作者西野職人のこだわりが見てとれる。これが素人の製作した作品なのかと目を疑うくらいである。

会員が三々五々集まってくる。その都度完成したテーブルに驚きの声をあげる。木作業はせず、材料・道具等の整理をし、早速祝宴に入る。自家製の木炭で焼いたジンギスカンの味は格別である。先ずテーブル製作者の西野職人から製作過程の苦労話や完成時の喜びなどが語られる。北海道における「落葉松」の価値が近年下がる一方であるが、このような大木になると別である。不運にも風台風でその命を絶たれた大木が、いま森を、木を愛する人達によって再び命を吹き込まれ生まれ変わった。まさに---尽きぬ命の調べは此処に---である。特に素材(落葉松)の素晴らしさ、木肌の温もり、年輪の輝き、流石神宮育ちである。宴は飲むほどに、酔うほどに、森を、木をそして木工について熱く語り、尽きることなく続くが完成コンパはこの辺で、西野さんの労苦と森ボラ杉本工房諸氏に乾杯!!(山中 記)



ホンデュラス壮行会

6月3日ホンデュラス行きとの日程調整で早めの6月幹事会を行い、その流れで狸小路2丁目のライオンでの壮行会を行いました。出席者11名、リンゴ園花見からテーブル完成パーティーに引き続いての飲み会でしたが、出張者の無事と期待どおりの成果を祈りまして和気あいあい。3次会までやった強者もいたとの噂があるほどの参加者達の元気ぶりでした。

◆ 澄川で炭焼き開始

6月15日(木)参加12名、前地さんがドラム缶を持込みまして、澄川の広場の隅に炭化炉を設置しました。前地さんはノーハウに習熟しておられますので、その指導に基づけば、ささやかであっても炭焼きの実習ができることになりました。1回で10~15kgの木炭を収穫できるということです。ドラム缶なので設備費用も安いので、台数を増やす方向で除伐材による木炭を増産しましょう。



◆ オイスカ第10回 山・林・SUN 春期行事

6月16日(土)当会参加者3名。前日の雨がまづは上がり、重たい雲の下、定刻に学生達(約50名)を乗せたバスも到着し、前年までに植樹した植栽地の草刈を行いました。学生達が幼樹の際を手鎌で丁寧に刈った後、草刈機9台で全面刈り払いました。引き続き「樹木活力調査」を学生主導で行い最後に古新聞でのマルチをほぼ前植栽樹に施して終わりました。参加学生は北大、酪農学園大、札幌大学で、ものすごい蚊の襲来の中での健闘でした。

■ 今月の幹事会

6月3日(土)出席者：酒井、芝、杉本(茂)、高野(豊)、津金、西野(悌)、棟方、山中、和田

1 オイスカ北海道との連携 法人会員として相互乗入、高野事務局長がオイスカ幹事に就任

6月17日(土)青山草刈に刈払機2台動員。

2 森林ボランティア保険 特にチェーンソー操作者に対する保険を探しています。

3 賛助会員拡大に協力をお願いします。

4 澄川門柱修理→釣井さんのご支援により修理の見通し。

5 スケジュール点検→芸術の森「アートマーケット」出店、7/7(金)準備作業、7/8(土)出店

◆ 会員の動向

入会者：高橋節子、矢澤 滋

■お知らせ

◆ 富士ゼロックス G より寄付金 20 万円

端数倶楽部およびその親会社の富士ゼロックス(株)から 10 万円ずつ、20 万円の寄付をいただきました。前記社 OB の荻田さんの強力な推薦をいただきましての結果であることを付記しておきます。ありがとうございました。

『端数倶楽部』はその趣旨に賛同する富士ゼロックスで働く人々によって構成されています。毎月の給料と各期の賞与の『端数』(100 円未満の金額)に個人の自由な意思(1 口 : 100 円×n)をプラスし、毎年 14 回、継続的に拠出してもらい、会員が必要と考える分野/テーマで、その資金を有効に役立てようというものです。一人ひとりではささやかな金額でも、多くの社員に継続的に参加してもらうことによって、全体ではまとまった活動資金になり、社会のために大きく役立てることが出来ます。しかも、この資金を外部に寄付するときには、会社から同額がオン(マッチング・ギフト)され、金額面の効果が倍増されるとともに、社員と会社が一体となった貢献活動になります。社会になんらかの形で貢献したいという社員の気持ちが集まり、さらにその趣旨に会社も賛同し、協力することでその輪がさらに広がる。端数倶楽部はそうした社会貢献の新しい形と考えています。(端数倶楽部代表幹事 近藤慶治)

◆ 芸術の森アートマーケットに今年も参加

7 月 8 日(土)昨年から参加しました芸術の森「アートマーケット」に今年も木工チームが参加します。昨年の反省を踏まえて、今年の商品を検討し、昨年以上の成果を目論んでいます。会員各位のご来場を期待します。

◆ スケジュール変更のお知らせ

6 月 28 日有明第二の草刈は 14 日にほとんど完了したので、藻岩/間伐に変更します。
7 月 1 日野幌森林公園草刈はホンデュラス報告会に変更します。

◆ ホンデュラス報告会

7 月 1 日(土)、リンケージプラザ第一研修室、13 時からホンデュラス報告会を行います。さて、どんな話が出てくることか、千葉の若松小学校との交流会のことも楽しみであります。大きな部屋を取りました。多数の参加をお願いします。

◆ 天売 & 焼尻ツアー参加募集 〆切り 6 月 29 日(下記世話役のいずれかに申請)

費用 : 20,000 円

【7 月 24 日(月)】

10 時 羽幌道の駅「ほっとハートはぼろ」に集合⇒初山別「北限の杉」を訪ねる(案内 酒井)⇒
14 時 30 分 羽幌より フェリー「おろろん 2」にて天売島へ出帆⇒16 時 天売島民宿 栄丸⇒
17 時頃 海鮮バーベキュー開始⇒19 時頃 ウトウ帰巣観察⇒2 次会開始
※北限の杉に興味の無い方は 14 時 30 分 フェリー出帆より合流のこと

【7 月 25 日(火)】

8 時 30 分 海底探勝船にて遊覧⇒10 時 25 分 フェリーにて焼尻島へ出帆⇒10 時 45 分 焼尻着⇒
オンコ(イチイ)原生林探勝⇒16 時 05 分 高速船「さんらいな」にて羽幌へ出帆⇒16 時 38 分 羽幌着
⇒17 時 解散

羽幌往復は自家用車でできるだけ乗り合せてください。ガソリン代を同乗者頭割りで負担でいかがでしょうか? ガソリン代計算 130 円×走行距離/10 km

世話役幹事 : 柴田、津金、和田

◆ 二青会 野幌植樹 6 月 24 日(土)にスライド

使用予定の会場の規定に従い、子供の参加が必要なので、土曜日にスライドさせました。お孫さん連れられてきてください。

■活動履歴

活動日	場所	参加人数	活動内容
6/19	北海道神宮	6	前側林清掃、枝粉碎
6/17	当別/青山	3	オイスカ支援
6/16	澄川		雨天中止
6/15	澄川	12	歩道倒木除去、広場草刈、炭焼き準備
6/14	有明第二	10	歩道、植林地草刈
6/9	西野第二		雨天中止
6/8	藻岩国有林	7	トドマツ人工林間伐
6/7	藻岩国有林	8	トドマツ人工林間伐
6/6	北海道神宮	13	前側林床清掃、枝粉碎、製材
6/5	北海道神宮	22	前側林床清掃、枝粉碎
6/3	金市館、2丁目ライオン	10	幹事会、ホンデュラス壮行会
5/31	杉本邸	15	木工、テーブル完成祝賀パーティー
5/29,5/30	藻岩国有林		雨天中止
5/25	澄川	9	雪印種苗木 72 本仮植え
5/24	澄川	16	
リンゴ園	5/23、26、30、6/2、6、9、13、16、摘果作業		

■ひとこま

◆雪印種苗の苗木育成

5月25日 雪印種苗よりポット苗木 72 本を受領。ただちに澄川に作った苗圃に植えて育成することになりました。アオダモ、アキグミ、イタヤカエデ、エゾヤマザクラ、カツラ、ケヤマハンノキ、ズミ、ドロノキ、ヤチダモの 9 種、それぞれ 8 本ずつ計 72 本です。



◆澄川でカワニナ確認

6月2日(土)。澄川にシイタケの収穫にゆきました。前回に流れに浸したシイタケのホダ木を引き上げてみました。カワニナが群がっているではありませんか。前々から澄川の沢にはホタルがいる。と噂されていました。カワニナはホタルの餌なのです。カワニナが生息するせせらぎであれば、ホタルも生息している確率が高いのです。来るシーズンにはホタルを確認する会を設定しまして、澄川でキャ

ンプをしてみましょう。

◆神宮のタモギタケ

6月5日の神宮作業の日、キノコ博士の湯澤さんがタモギタケの大群落を発見。養殖物しか知らない方々には野生の本物の迫力にビックリだったと思われます。森林の贈り物として極上品であります。参加者それぞれお裾分けにあずかりました。

